



つくばみらいの

地域活動と聞いて、どんなことをイメージできますか？「町の清掃」、「近所のお年寄りの話し相手」など色々な種類がありますが、その一つに、「ボランティア」があります。市内にも様々な活動をしているグループが多数あり、ボランティア連絡協議会に加入しているグループの皆さんの活動を紹介します。

この協議会は、地域で活動するボランティアグループがお互いに連携し、心のふれあうまちづくりを目指し、充実したボランティア活動の推進を図ることを目的としています。協議会には24グループで、約530人の会員の方が所属しています。

気になる活動があれば、ぜひ一緒にやってみませんか？自分の住む地域が笑顔であふれると、あなたの人生がもっと楽しくなるかもしれませんよ。

お問い合わせは、各グループまたは、ボランティア市民活動センター（市社会福祉協議会谷和原支所）へのご連絡をお待ちしています。

ボランティア市民活動センター
☎ 25・2101

※今回でボランティアの紹介は最終回とします。次回からは新企画をご紹介します。

ボ

ラ

ン

テ

イ

ア

最終回

ほうれん創

◆設立時期 平成21年4月1日

◆会員数 14人

◆会の目的

◆活動実績

高齢者世帯への配食サービスを通じた地域福祉向上
社会福祉協議会の配食・会食サービス事業協力（年6回）、勉強会（月1回）

【会からのメッセージ】

私たちは、社会福祉協議会主催の「男性料理教室」OBで構成したグループで、料理教室で実習した料理を地域のお年寄りに提供することで、社会貢献を目指しています。

グループ名の由来は、食材購入の担当者が最初に手にした食材がホウレンソウだったというだけのことですが、このホウレンソウ、「安価で栄養豊富」、そして「四季を問わずに手に入る」庶民の味方の野菜です。

私たちは、ホウレンソウのように栄養のバランスの取れた食事（弁当）を息長く提供することと、一人でも多くのお年寄りが、私たちの作る弁当を楽しみに待っていてくださるようになることを目指して頑張っています。



栄養のバランスを考えた弁当づくり

問 ボランティア市民活動センター ☎ 25・2101

ます。今後は、料理のレパートリーを増やしたいと頑張っているグループです。一緒に活動してみようという方は大歓迎です。

つくばみらい要約筆記の会

◆設立時期 平成19年4月

◆会員数 3人

◆会の目的

◆活動実績

要約筆記を通しての社会貢献
社会福祉協議会および関係団体行事への協力（福祉まつり・ボランティアの集いなど）

【会からのメッセージ】

私たちのサークルは、耳の聞こえない方、聞こえにくい方のコミュニケーションの手助けを目指しています。

特に、手話の習得が難しい中途失聴者や高齢難聴の方々に、その場の音声情報を筆記具やパソコンを使い、文字にしてお伝えします。人が話している言葉を文字化するの、ほぼ同時に、正しく、わかりやすく伝える必要があり、利用者と交流しながら勉強を重ねています。

活動が表に出ないのであまり知られていませんが、これからは高齢化に伴って必要性が高くなると考えています。

私たちの日常には、いろいろな音があふれています。聞こえない音がある方が、音声情報



スクリーンを使って音声情報を伝える様子（写真左が会員）

問 ボランティア市民活動センター ☎ 25・2101

から隔離されない地域づくりに貢献できるよう活動していきたいと思っています。利用されたい方も、お問い合わせください。